

お知らせ



岡山県立博物館

担当者

内池

電話番号

内線：5015

直通：086-272-1178

備中高松城の戦いに関する古文書を展示しています！

天正10（1582）年4月以降、織田信長の家臣だった羽柴秀吉（のちの豊臣秀吉）が、備中高松城（岡山市北区高松）に籠城する清水宗治を包囲しました。

その戦いに関する吉備津神社所蔵の古文書2点を岡山県立博物館で展示しています。ぜひ取材にお越しください。

記

- 1 展示期間 令和7年5月11日（日）～6月29日（日）※延長する可能性あり
- 2 会場 岡山県立博物館 1階展示室
- 3 入館料 大人260円、65歳以上130円、高校生以下無料
- 4 展示資料



<蜂須賀正勝書状>

天正10年3月25日に、吉備津神社の神職に宛てて出した手紙です。

秀吉の家臣だった蜂須賀正勝が、進軍してくるにあたり、吉備津神社に対して挨拶をしているものになります。蜂須賀正勝は、後に阿波（現在の徳島県）の大名になる人物です。



<原田与七郎書状>

天正10年5月13日に、吉備津神社の神職に宛てて出した手紙です。雨が降り続けているので、羽柴秀吉（文章中では小一様）に面会できていないこと、秀吉が吉備津宮に参詣して機嫌が良いこと等が書かれています。備中高松城を取り囲んでいたときに、吉備津付近で雨が降り続いていたことを示す貴重な手紙です。

- 5 その他 2階展示室では、テーマ展「学び、つながる江戸時代の人びと」を開催